

「東京eスポーツフェスタ2022」 eスポーツ競技大会 6タイトルの優勝者が決定 3日間の総視聴数は約14万回！

eスポーツの普及と関連産業の振興を目的として、eスポーツの競技大会と関連産業展示会等で構成するイベント「東京eスポーツフェスタ2022」を2022年1月28日(金)～1月30日(日)の3日間にわたり開催しました。

3回目となる今回の開催も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前回と同様のオンライン形式で実施し、3日間、競技大会やセミナーなどの企画をYouTube等で配信しました。



(中央) 公式アンバサダー えなこ、(中央右) 東京eスポーツフェスタ2022実行委員会特別顧問／一般社団法人日本eスポーツ連合 会長 岡村 秀樹、(中央左) メインMC 平岩 康佑、(右端) アシスタントMC 初美 メアリ、(左端) アシスタントMC 阿部 麻美

全国各地から多くの選手が参加したeスポーツ競技大会は、「eBASEBALLプロ野球スピリッツ2021 グランドスラム」「グランツーリスモSPORT」「太鼓の達人Nintendo Switchば～じょん!」「パズドラ」「ぷよぷよeスポーツ」「モンスターストライク」の6種目で実施し、優勝した選手たちには東京都知事杯が贈呈されました。

また、特別企画として実施した「Fall Guys: Ultimate Knockout」の競技大会では、オンライン予選を通過した選手33名とメインMCである平岩康佑さんで実施し、優勝者には優勝トロフィーを贈呈しました。

さらに、同時開催された関連産業展示会は、都内に所在するeスポーツ関連の中小企業や団体、学校など、43事業者がオンライン出展するとともに、eスポーツによる企業交流戦やピッチイベントを実施しました。

このほか、セミナー・学習企画として、業界の最新情報やアンチ・ドーピング、パラeスポーツをテーマとするセミナーや、プログラミングを学べる講座、プロプレイヤーからeスポー

ツのテクニックを学べる教室など、eスポーツ初心者の方からビジネスで関わる方まで、幅広い世代を対象とする企画を実施しました。

各種企画の実施概要は、以下のとおりです。なお、実施した各種企画は、会期後もYouTubeの東京eスポーツフェスタ公式チャンネルのアーカイブにてお楽しみいただけます。

<オープニング>

会期初日のオープニングでは、東京eスポーツフェスタ実行委員会名誉委員長の小池百合子都知事がビデオメッセージにて、「世界中の友達やプレイヤーとオンラインでつながることができるのがeスポーツの魅力。今回の東京eスポーツフェスタが、業界のすそ野をさらに拡大させ、関連産業がますます発展することを期待しています。」とコメント。

また、実行委員会特別顧問であり一般社団法人日本eスポーツ連合の岡村秀樹会長が登壇し、「eスポーツは、国境を超えて人と人とのつながりを深める共生社会のソリューションのひとつであると思っている。今年は、アジア競技大会において、eスポーツが正式なメダル競技として実施される記念の年でもあります。東京eスポーツフェスタが回を重ねるごとに充実したイベントになっているのは、eスポーツが多方面から経済効果を期待されているからだと思います。」とコメントしました。

さらに、公式アンバサダーであるコスプレイヤーのえなこさんの「3日間盛り上がっていきましょう！東京eスポーツフェスタ2022、スタートです！！」のコメントで始まりました。

<eスポーツ競技大会>

●「グランツーリスモSPORT」決勝大会

オンライン予選を勝ち上がった8名による決勝大会を実施。

タイムトライアルで決定したグリッド順にてコース「東京エクスプレスウェイ南ルート外回り」を15周し、優勝者を決定しました。レースは、序盤からとかり選手、CRV選手、宮園選手がトップ集団を形成。最終ラップで宮園選手がトップに躍り出る熱いレースを展開し、みごと大会連覇を決めました。



【優勝者】 宮園 拓真 選手

「去年もこの大会で優勝して、自分だけが連覇できる立場ということを意識しながら練習してきました。レース中は、自分のペースがあまりよくなかったのですが、なんとか年の差による経験の差で勝つことができたと思います。」



©2017 Sony Interactive Entertainment Inc. Developed by Polyphony Digital Inc. Manufacturers, cars, names, brands and associated imagery featured in this game in some cases include trademarks and/or copyrighted materials of their respective owners. All rights reserved. Any depiction or recreation of real world locations, entities, businesses, or organizations is not intended to be or imply any sponsorship or endorsement of this game by such party or parties. "Gran Turismo" logos are registered trademarks or trademarks of Sony Interactive Entertainment Inc.

●「ぷよぷよeスポーツ」決勝大会

オンライン予選を通過したキッズ部門4名、一般部門4名によるトーナメントと、プロ部門2名によるワンマッチを、それぞれ先に5勝したプレイヤーが勝者となるルールで行いました。



キッズ部門のhayato選手は、決勝でストレート勝ちを決め圧倒的な強さで優勝。一般部門は、相手のプレイを見極め、冷静な試合運びを展開したながれ選手が、さらにプロ部門では連鎖の応酬による白熱したゲームを制したlive選手が優勝。3部門においてハイレベルな試合がくり広げられ、盛り上がりました。

【優勝者】 [キッズ部門] hayato選手

「やっぱり優勝はうれしいです！特に豪華賞品も簡単に手に入るものではないので、もらえてうれしかったです。来年も優勝を目指して、将来はプロ選手になりたいです！」



【優勝者】 [一般部門] ながれ選手

「優勝は率直にうれしいです。4年くらい大会に出ているので緊張はしなくなった。相手のプレイを見極めて、メンタル面で優位に立てたことが大きいと思います。」



【優勝者】 [プロ部門] live選手

「2022年最初の大きな大会で優勝できたことはうれしいです。ふよふよはここ1年で、リソースの管理などすごく技術が進歩しています。今日はそのあたりが上手くできたと思うので、よかったです！」



● 「パズドラ」 決勝大会

優勝者に「プロライセンス認定権利」が与えられるパズドラは、オンライン予選から勝ち上がった8名による決勝大会を実施しました。決勝大会は8人同時に参加する対戦を3試合行い、合計スコアで勝者を決定するルールで行い、上位4名の選手が僅差となる大接戦でしたが、第1・第2バトルでは上位3位までに入っていなかったちっぴー選手が逆転優勝し、前回のリベンジを果たしました。



© GungHo Online Entertainment, Inc.
All Rights Reserved.

【優勝者】 ちっぴー選手

「去年も出場して決勝で負けてしまったのですが、今年は絶対に優勝するぞという気持ちでベストを尽くしました。優勝できて満足感でいっぱいです（笑）」



●「eBASEBALLプロ野球スピリッツ2021 グランドスラム」決勝大会

セ・パ両リーグ各2チーム計4チームのオンライン予選全国ランキング1位を獲得した4名決勝トーナメントを実施。各試合には「にじさんじ」所属の人気ライバーたちも応援団長として対戦を見守りました。各試合3イニングで勝敗を決めるルールで、決勝戦では、豪快なサヨナラ3ランを放ったあらき選手がみごと優勝を決めました。



© Konami Digital Entertainment
“eBASEBALL”は、株式会社コナミデジタルエンタテインメントの登録商標です。

【優勝者】あらき選手（セ・リーグ選抜 守りのワークス）

「優勝はもちろん狙っていましたが！視聴者の方に僕のことを覚えてもらえるよう、さらにプロスピの面白さを伝えられるようにホームランなども意識しながらプレイしました！」



●「太鼓の達人Nintendo Switchば〜じょん！」決勝大会

オンライン予選を勝ち上がった親子部門4組、一般部門4名で決勝トーナメントを実施しました。今年から新設した親子部門では、オンライン予選を1位で通過しただいちゃん選手・けんとおっぴ選手がそれぞれ高得点をマークし優勝を決めました。一般部門では幅広い楽曲で高いスキルをもつやまはる選手が全良をたたき出して優勝し、前回のリベンジを果たしました。



©BANDAI NAMCO Entertainment Inc.

親子部門

【優勝者】だいちゃん選手(左)、けんとおっぴ選手(右)

だいちゃん選手

「一昨年に『太鼓の達人』を東京ビッグサイトで初めて見て、いつか親子で出場したいなと思っていました。息子と出場し、さらに優勝までできて本当にうれしく思っています。」

けんとおっぴ選手

「初出場したときに予選で負けたことが本当に悔しくて、勝ちたくて練習してきました。今日は優勝できて本当にうれしいです！」



一般部門

【優勝者】やまはる選手

「前回大会は決勝で負けてすごい悔しかった。集中した練習を重ねてきて、決勝戦では上手く叩くことができた。全良という勝ち方ができたことはすごくうれしいです！」



● 「モンスターストライク」 決勝大会

新たに親子（ファミリー）部門を加え、一般部門とあわせて2部門で開催したモンスターストライクは、それぞれ2名1組を1チームとし、オンライン予選を勝ち上がった一般部門8チーム、親子（ファミリー）部門6による決勝トーナメントを実施しました。親子部門では、終始、笑顔で息の合った正確なプレイを見せたリトルバード@福岡市が優勝を決めました。一般部門は、予選の段階からプロチームなどの強豪を次々に撃破してきたおんみょーんが優勝しました。



©XFLAG

親子部門

【優勝者】リトルバード@福岡市

の一ふえいす選手(左)

「勝ててホッとしています。元チームメイトから刺激を受けて出場を決めました。二人で協力して勝てたことがうれしかったし、とても笑顔になれました（笑）」

空色選手(右)

「勝ててよかったです！父親に誘われてモンスターを久しぶりにやりたいと思いプレイしましたが、上手くできてよかったです。」



一般部門

【優勝者】おんみょーん

ぴっぴ選手

「自分のせいで負けそうになったので、あきらめずに戦って勝ててうれしかったです。どこのチームよりも練習してきました。僕らは実績がないので下剋上できたかなと思います。」



さる選手

「2年前の東京eスポーツフェスタの決勝トーナメント初戦で負けてしまって、すごい悔しい思いをしてきた。今回勝ててすごくうれしいです。」



● eスポーツ競技大会体験企画「Fall Guys:Ultimate Knockout」 決勝大会

オンライン予選で勝ち抜いた総勢33名にメインMCの平岩康佑さんを加え、実施しました。体験企画とは思えない百戦錬磨の猛者たちが集う激しい戦いを経て、TmT選手が見事優勝しました。なお、平岩さんは1ステージ目のスタートから10数秒で脱落してしまいました。



【優勝者】 TmT選手

「優勝できてよかったです！フレンドと事前に練習できたことが優勝につながったと思う。一日5時間練習することもあり、それが勝利につながったと思う。次回もあればぜひ出場したいです！」



<関連産業展示会>

● 企業交流戦

関連産業展示会の出展事業者有志が、東京のブランド豚「TOKYO X」を賭けて、「Fall Guys: Ultimate Knockout」にチャレンジ。公式アンバサダーのえなこさんも特別参加しましたが、残念ながら第2ステージで脱落し、とてもくやしがっていました。そして見事優勝したのは、株式会社オブジェクトの高橋さんでした。



© 2021 Mediatonic Limited. All rights reserved. The Mediatonic and Fall Guys mark, logos and characters are trademarks of Mediatonic Limited

【優勝者】株式会社オブジェクト 高橋麻里 様

「すごい緊張して手が震えました。リリースされた時からプレイしていて今日のために練習してきました。普段声優の活動をしており、お世話になっている事務所TOKYO Xをゲットできてうれしいです！」



【参加事業者】(50音順)

有限会社アイアンワークス／株式会社ADKクリエイティブ・ワン／株式会社オブジェクト／株式会社オレンジアーチ／キッセイコムテック株式会社／株式会社キャスティングボイス／渡作株式会社 G. triGer／日本テレビ放送網株式会社・AXIZ／株式会社ファースト／Fusion LLC.／ランドマークス株式会社

● eスポーツピッチイベント

関連産業展示会に出展する4事業者が、eスポーツ関連産業活性化に向けた新規サービスや製品などに係るアイデアのプレゼンテーションを行い、3名の専門家が審査した結果、トータルビューティ株式会社が最優秀賞を受賞しました。

【最優秀賞】

トータルビューティ株式会社

「eスポーツの「目」を育て、ITデバイスから「目」を守ります」

プレゼンター：同社 部長 首藤 一芳 様

「ありがとうございます！これからもゲーマーの方、ゲーム関係者の方々の目をデバイスから守っていきたいです。全国のめがね屋さん、眼科さんとも提携しながら、eSASを世の中に広めていきたいと思います。」



【参加事業者及びプレゼンテーションテーマ】（発表順）

- ・株式会社響尤
「新しい日常のeスポーツとスポーツベッティング～有明アーバンスポーツパークで
メタ・インバウンド～」
- ・トータルビューティ株式会社
「eスポーツの「目」を育て、ITデバイスから「目」を守ります」
- ・株式会社C-tee
「東京eスポーツの活性に向けたおもてなしサインージ®のご提案」
- ・株式会社東京オデッセイ
「eスポーツとVR ARCHTECTとメタバース」

【審査員】

- | | |
|---------------------------|-------|
| ウェルプレイド・ライゼスト株式会社 代表取締役 | 谷田 優也 |
| GAMEクロス編集長 | 金子 元希 |
| PwCコンサルティング合同会社 シニアマネージャー | 藤島 太郎 |

<その他 配信企画>

●日本テレビ「eGG」presents『えなこの東京eスポーツ学校』

公式アンバサダー えなこを校長に、日本テレビ「eGG」にゆかりのある出演者が“eスポーツの楽しみ方”や“eスポーツ選手のアレコレ”など、eスポーツの魅力を楽しみながら一緒に勉強するイベントを開催しました。



<出演者>えなこ(コスプレイヤー) / 平井 善之(アメリカザリガニ) / 佐藤 梨那(日本テレビアナウンサー) / 貴島 明日香 / ゴー☆ジャス / 板橋ザンギエフ(Detonation Gaming) / Toki (AXIZ WAVE) / 平岩 康佑(eスポーツキャスター)

※なお、2月22日(火)24:59放送予定の日本テレビ「eGG」の番組内でも、「えなこの東京eスポーツ学校」の様様をご紹介します予定です。

●プロから教わるeスポーツ教室 “モンスターストライク”

本フェスタの競技種目でもある「モンスターストライク」にフィーチャーし、基礎テクニックや攻略ポイント、今後の競技大会に備えた練習方法などを、プロプレイヤーのけーどら選手を講師に迎え、レクチャーしました。

本企画では、モンスターの攻略に重要な“クリアタイム”に焦点をあて、けーどら選手による自作のスライドと動画による授業を行いました。8つのポイントを意識したけーどら選手による実演を見た、生徒のRaMuさん、初美メアリさんからは驚きの声があがっていました。



<出演者>けーどら(モンスタープロチーム 獣神亭一門 所属) / RaMu (タレント/YouTuber) / 初美メアリ(モデル/声優/タレント)

■「東京eスポーツフェスタ2022」開催概要

名称：東京eスポーツフェスタ2022

日程：令和4（2022）年1月28日（金曜日）から1月30日（日曜日）まで

開催方式：公式WEBサイト（<https://tokyoesportsfesta.jp>）

動画配信サイト（YouTube、ニコニコ生放送、OPENREC.tv、Twitch）

主催：東京eスポーツフェスタ2022実行委員会

[東京都／(一社)日本eスポーツ連合／(一社)コンピュータエンターテインメント協会／(一社)日本オンラインゲーム協会／(株)東京ビッグサイト]

【問い合わせ先】

東京eスポーツフェスタ2022PR事務局（アズ・ワールドコムジャパン株式会社内）

電話：03-5575-3225（平日10～18時） MAIL：press@tef2022.jp